



2014年度 関東学院大学 工学部 電気電子情報工学科 卒業祝賀会
於 神奈川県民ホール「英一番館」

電気電子情報工学部会々報

<http://www.keudenki.jp>

No. 37
発行責任者
岡田 光晴

部会長挨拶



会長 岡田 光晴
(電気'69年度卒)

部会会員の皆様には日頃よりご支援、ご協力をいただき感謝申し上げます。引き続き今年度もよろしくお願い申し上げます。

皆様もすでにご承知の通り、一昨年工学部が解消され新たに理工学部が発足いたしました。そしてこれまでの学科は廃止、専門分野11コースの編成となり、旧電気電子情報工学科については、電気・電子コース、健康・スポーツ計測コースの2コースが電気系の専門分野となっております。これら大学の改革に対し私たち電気電子情報工学部会は、部会名称及び卒業生構成等も含め今後の部会活動の課題として取り組んでまいります。

さて、昨年度で二回目となる電気関係OB企業と電気系学生及び教員との交流会を、就職支援活動の一環として実施いたしました。一昨年の初回とは異なり、学生、教員そしてOB企業の方々お互いが積極的に交流を図り会場は熱気で溢れていました。特に学生たちが先輩を取り囲む輪があらこちらに見られ、OB企業の方々は、学生たちの質問に懇切丁寧に答え、事業内容、業績、業界についてわかり易く説明していたことが大変印象

的でした。同窓であればこそ、お互いが遠慮なく情報交換ができたものと考えています。

3月に行われました卒業祝賀会で、私から卒業生に「簡単に会社を辞めるな、まずはキャリアを積んでから考えなさい。」と申し上げました。昨今の新入社員の中に、就職してわずか数か月で、しかも安易に会社を辞める若者が増えており、その原因は事前に企業の状況をよく理解していないか、また雰囲気だけで選んだことが、企業との間に生じたミスマッチと考えられています。今後におきましても、この交流会は当部会の重要な活動として継続してまいります。OB企業と一層の交流が深まることにより、学生本人がどのような仕事をしたのか、自分に合った仕事は何かなど、本人の力を遺憾なく発揮できることに結びつけたいと考えています。

厳しい社会で培った幅広い知識と経験を様々な分野でご活躍のOB企業の皆様には、是非とも交流会に参加していただき、一人でも多くの学生がOB企業に採用されるよう期待するところでもあります。学生とOB企業、教員とOB企業が親密な関係を築くことこそ大学発展の礎となるものと信じています。そのために当部会といたしましては今年度も同期会開催の支援や総会の開催を通じて、OB相互の親睦や教員との交流の機会を用意いたしております。特にOB企業との交流会への参加については、当部会のホームページをご確認の上ご一報いただければ幸いです。

おわりに、昨年、電気系の卒業生が7,000名を超え会費の納入額に期待をいたしておりましたが、期待に反し年々会費納入が停滞しており、部会幹事一同苦慮いたしております。充実した部会活動を行うためにも、大変恐縮ではございますが、「会費納入のお願い」につきましてご理解いただき、皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

理工学部理工学科電気学系、工学部電気電子情報工学科の近況について

電気学系長 兼 弘幸

卒業生の皆様、ご無沙汰致しております。昨年度より理工学部理工学科電気学系の世話役を仰せつかっております。箕弘幸(みのひろゆき)と申します。誠に不慣れ且つ非力ながら、皆様のご支援、ご協力により、昨年度1年間無事に業務を遂行させていただくことができましたこと、厚くお礼申し上げます。本年度も、皆様の母校をより発展させるため、精進してまいりたいと考えております。

さて、恒例ですが、学系、学科の近況をお知らせいたしたく存じます。2015年度4月の段階で電気学系の学部生入学者数につきましては、電気・電子コース57名(定員48名)、健康・スポーツ計測コース23名(定員20名)、計80名であり、電気学系、及び電気電子情報工学科の在籍者総数は、342名となりました。一方、大学院工学研究科電気工学専攻への入学者数は、博士前期課程1名であり、前期課程の在籍者総数は7名、後期課程は3名となりました。なお、2014年度には、博士(工学)の学位を取得した博士後期課程修了者、金子和正君(井原研)を輩出致しました。

教員の人事異動につきましては、次のとおりです。井原俊夫先生(理工学部教授、大学院工学研究科電気工学専攻博士前期課程指導教授、博士後期課程指導教授兼任)が、13年の永年にわたり電波伝搬の研究だけでなく、博士を2名輩出するなどの教育の側面でも多大な功績をおさめられ、2015年3月31日を以って退職されました。その一方で、石坂雄平先生が、北海道大学院工学研究科で、専

任講師として着任されました。石坂先生は北海道大学院において、光ファイバーや光ルータなど、光を用いた通信技術の先駆的なご研究を院生時代より主体的に続けてこられ、IEEEをはじめとするピアレビューの洋雑誌に10報以上の実績を持つ新進気鋭の若手研究者であつて、本学での教育研究の展開に多大な期待が寄せられています。また、2014年度1年間にわたり米国コネティカット州のコネティカット大学にてサバティカル研究を終えた植原弘明先生(理工学部教授)が帰国して、本年度より、引き続き、教育研究に従事しております。

電気学系は、現代社会のインフラの一端を担っている電気電子分野、そして超高齢化時代の到来に備えた健康・医療機器や健康増進のためのスポーツ科学分野、及び関連教育を行っています。次の世代の若人らが、キリスト教教育を礎に、電気・電子分野、健康・スポーツ計測分野は勿論、理工学部の他の分野の知識を横断的に学び、専門分野の境界に囚われない幅広い教養と知識を修得して、社会にとび立てよう、教職員一同尽力いたしております。

数年前に1号館裏の待従川側の歩道に桜の木が植えられ、今年も入学生を迎えるタイミングで綺麗に咲いておりました。その写真(2015年4月1日撮影)をご覧ください。母校を思い出していただきたく存じます。改めまして、今後とも、卒業生の皆様から



の厚いご支援とご協力をお願い申し上げます。末筆ながら、皆様の益々のご健康、ご活躍を祈念して、ご挨拶にかえさせていただきます。また、ご挨拶

賀詞交歓会について

副幹事長 波多江修治 (電気'77年度卒)

今年の「企業と大学との交流会(賀詞交歓会)」は、1月23日(金) 関東学院大学金沢八景キャンパス構内で開催致しました。一昨年までは大学の先生方、電気情報工学科部会(OB)と学生方の交流を主旨としていました。しかしながら昨年より後輩現役学生の就職支援を部会がお手伝い出来ないかとのOBの声を受け、賀詞交歓会を「企業と大学との交流会」としてOB関連企業各社様のご協力を頂き大学と部会共催で開催しました。今年2回目となります。

「企業と大学との交流会(賀詞交歓会)」は、2部構成で1部は5号館101ホールでOB関連企業12社と昨年より3社多い企業様に参加頂いての会社説明会。2部は場所を代え2号館教職員ホールで学生・企業、学校の先生方・サポータークラブの皆様、部会OBとの直接コミュニケーションができる懇親会の場を設けました。学生の皆さん、先生方他多くの皆様にご参加頂き、盛況のうち予定の約3時間半を無事終了致しました。このような形で開催は2回目となりますが、各企業人事担当の皆様からは今回も好評で次回も是非参加したいとの声も多く聞かれ、学生の皆さんにも好評でしたので、来年も引き続き就職支援での開催を継続して行きたいと思っております。今後、各関係の皆様からご意見を頂戴し「企業と大学との交流会(賀詞交歓会)」をより良いものにしたたいと考えております。

最後になりましたが、開催に当たりご尽力・ご協力頂きました皆様にこの誌上をお借りしてお礼申し上げます。

KGU 44年度卒 工学部電気工学科同期会

岡田 光晴 (電気'69年度卒)

KGU 44年度卒 工学部電気工学科同期会の幹事は「松本、岡田、金子、田中」です。第1回は昭和52年(卒業7年後)に開催し、平成3年(卒業21年後)、平成22年(卒業40年後)、平成26年10月3日(金)と4回開催しました。今回、関東学院大学の新校舎を校友課に案内して頂き、川上先生、難波先生、水寄先生を迎えて懇親会を行いました。この時に全員の写真撮影を行いました。写真がありますので添付いたします。

次回は3年後(平成29年)に母校にて土曜日の開催を予定しました。照喜名さんから第1回目から沖縄での開催を提案され、今年も強い要望がありました。同期会有志で平成28年1月頃に開催(二泊三日を予定)したいと思っております。旅行代金は安価となるように努力し、詳細は平成27年秋以降を予定しています。

参加者には写真の人の名前が分かるように記述し、また会計報告も致しました。尚、今回の同期会は煤葉会電気電子情報部会の支援(通信費等の補助)をいただいで開催できました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。



部会だより(電気電子情報工学部会)

新卒業生の声

■大学での研究について

清水 拓巳(電気'14年度卒)

近年、ロボットの応用分野が拡大し、人と似た関節機構を持っており、代わりに働くことができる二足歩行ロボットが普及しています。しかし、二足歩行ロボットは不安定で転倒しやすく、未知の環境や動的に変化する環境において、人の手によって適切な動作及び行動を設計するのは困難です。この問題を解決する方法として、機械学習を用いて、歩行時の転倒回避動作をリアルタイムで補正する手法が提案されていますが、今までの研究では、小型の二足歩行ロボットで検証していたため、ロボットの大きさを変化させても今までの手法が有効であるか実環境で検証する必要がありました。

そこで、卒業研究の一環として、キッズサイズ二足歩行ロボットを使用し、実環境で検証するための環境の構築を行いました。キッズサイズ二足歩行ロボットは、アールティ株式会社から販売されている「RIC-90」を使用しますが、「RIC-90」には、今までの手法を検証するためのセンサ及び自律制御用のコントローラが搭載されていないため、ハードウェアの改良を施しました。具体的には、自身の状態および環境を認識するために、加速度セン

サ、ジャイロセンサ、圧力センサ、モーションキャプチャデバイス、センサ値の取得およびサーボモータを制御するための小型PCを搭載しました。また、圧力センサを搭載するために新たな足裏を、小型PCを「RIC-90」に搭載するための機構を設計し、実装しました。

結果として、センサ値で「RIC-90」の状態を取得すること、改良を施した状態でも、正常に動作することができ、環境の構築が完了しました。また、今回の研究結果を平成26年度電気学会電子・情報・システム部門大会(通称C部門)のポスターセッションで発表したところ、優秀ポスター賞をいただきました。

今後は、今回の研究したことを活かし、機械設計の職業に就き、社会へ貢献していきたいと考えています。



研究で改良を施した機体

第13回期(昭和41年3月卒業)の同期会開催について

沖山 文敏(電気'65年度卒)

我々13回期生(昭和41年3月卒業)は平成26年3月には全員、古希を迎えたことを機に有志による呼びかけで同期会を開催した。

開催については、年齢等を考慮し、基本的に平日で一泊とし、合わせて日帰り可能なところとして、「マホロバ・マインス三浦」、開催日時は、2014年11月10日(月)〜11日(火)に決定した。

案内状の送付に先立ち基本名簿の作成に取り掛かり、東郷良雄君がファイルで名簿を整理、保管してしてくれたので、これを基本として14名の名簿を整え、往復はがきを作成し全員に送付した。

この結果24名の参加の返事が来た。また、物故者は13名であった。不参加の理由の多くは病院通いが多く、新たに70歳を超えた年齢の実感が浮き彫りになった。

なお、不参加の何人かから現金や2次会用の地酒をご送付いただき、盛大な2次会を開催することができた。ありがたこの場を借りて感謝申し上げます。

なお、名簿作成成功者の東郷君からは病気のため不参加の返事が来ていたが、返事を郵送後、持病の肺の病が悪化し亡くなったとの連絡があり衝撃的な驚きであったが、懇親会開催に先立ち、東郷君をはじめ物故者全員の冥福を祈って1分間の黙とうをささげた。

乾杯の後の懇談会は、久しぶりに再会し学生時代など昔話に花を咲かせ、和気藹々とした雰囲気ですべて自己紹介や現状報告をし、今後の人生の夢を語り合った。あつという間に時間が過ぎ最後は校歌を歌ってお開きになった。



2次会は、全員幹事部屋に集まり、学生時代からの思い出の写真を持ち寄り、それをプロジェクターで壁に写し、新たに思い出話に花が咲き、深夜まで語りつくした。

明朝、ホテル玄関前で記念撮影をし、次回喜寿の祝いまで皆元気で頑張る再会しようとする約束し、それぞれ散会し同期会を終了した。

なお、後日、幹事全員で東郷君の仏前にお参りに行き、保管してくれた名簿のおかげで無事同期会が開催でき、しかも大成功裡に終えたことに感謝を述べ、永久の冥福を祈った。

また、この同期会開催に当たりいろいろな方々からご援助いただき、この場をお借りし、改めて感謝申し上げます。

電気'61年度卒7回目の同期会開催



於 伊豆伊東

新幹事挨拶

里見 卓哉 (電博前'14年度修)

この度、電気電子情報工学部会の幹事に拝命しました里見卓哉と申します。私は2008年に工学部電気電子情報工学科に入学後、2012年に大学院工学研究科電気工学専攻博士前期課程に進学し、今年3月に修了しました。学部・大学院を通じて宮崎研究室に所属し、学部時代は交通信号の制御について研究し、大学院進学後は島田先生や川名先生と共に物質の結晶構造を探索する研究を行いました。私がそもそも宮崎研究室に入ったきっかけは、学部2年次に先輩から誘われたのがきっかけで、同級生とともに出入りをしていました。大学院進学後は、病のため一時休学した他、修士論文の提出直前に風邪を引くアクシデントもありましたが、宮崎先生ならびに修論の審査をされた平松先生と島田先生のご指導のおかげで、期日までに修論を完成させることができました。修了までに進路を決めることはできませんでしたが、6月になった部内の企業に就職が決まりました。就職先は、機構設計を行う会社ですが、電気系の学生が応募したのは珍しい様でした。CAD等の経験のない私にとっては一からのスタートとなり、不安もありますが関東学院大学で過ごした経験が生かせるよう頑張りたいと思います。まだまだ未熟者の私ですが、どうかよろしくお願い致します。

2014年度の年会費・E&C 育成基金納入についてのお礼

会計幹事 小川 博芳 (電気'77年度卒)

田中 高洋 (電気'99年度卒)

同窓生の皆様お元気ですか、6月20日に関東学院大学金沢八景キャンパス2号館2階第4会議室にて評議員会が開催され、2014年度の事業及び収支決算、

2015年度の事業計画、予算案が可決承認されました。年会費は136名、E&C育成基金は40名(82口)から納入頂きました。誠に有難う御座いました。

東日本大震災、原発事故が4年目になりますが復興はまだ進んでおりません。このような時期だからこそ、「人と人との支えあい」を大切にした社会構造が求められると思います。

電気電子情報工学部会としても、大学、同窓会、在校生が一丸となる活動を実施すべく皆様の積極的な活動参加に期待しております。活動については部会のホームページをご覧ください。

2015年度も引続き在校生の論文・研究発表に奨励賞として図書カードの贈呈を致します。論文奨励賞、研究発表奨励賞は在校生の励みとなり、また同窓会との相互の親睦が図れることで継続を強く推進したいと思っております。近年は同窓会の活動に在校生の学生会から積極的に参加をしてくれますので、先ず、在校生と同窓生等相互の親睦が計られ充実してきておと思っています。

また、近年は小子化、経済状況等により受験生の減少、卒業生の就職難も聞かえております。1月の賀詞交歓会時には在校生との懇談に期待し、皆様のご協力の程よろしくお願いたします。同窓生の皆様には、年会費、E&C育成基金納入に対し、お礼を申し上げますと共に、これからも同窓会活動にご協力をお願いいたします。

なお、年会費、基金納入者氏名を別刷りに掲載させて頂きました。

年会費 2,000円

郵便振込口座番号

002500322193

加入者名

関東学院大学煤葉会
電気・電子工学部会

年会費の納入には次の方法でお願いしています。

- 1、同封の払込取扱票により郵便局にてお振り込み戴く方法。
- 2、OB会の各イベント開催時、現地にて現金納入を戴く方法。

ホームページだより



ホームページ担当幹事 佐々木正哉 (情ネ'07年度卒、電博前'09年度修)

昨年度より煤葉会電気電子情報部会ホームページ(以下、HPと記す)担当幹事を拝命しております佐々木と申します。お世話になっております。

昨年度部会役員ならびに電気学系教職員の皆様にご協力いただき、HPに関するアンケートを実施しました。アンケートにご協力いただきました皆様には、この場を借り御礼申し上げます。

従来HPでは、部会関係の行事に関する情報を中心に掲載しておりました。しかし、アンケートの結果より学系や現役生、卒業生の活動状況に関する情報が部会HP上での取り扱いが少ない点、部会に関する情報(運用方針や組織など)についてHP上に公開されていない点などが指摘されておりました。このような情報不足により、部会HPの閲覧が少なく、部会の広報活動が低下している可能性が考えられます。

そこで今年度は、アンケートに基づき、皆様にとって必要とされている情報と何かを見直しを行い、会員の皆様が必要としている情報をお知らせし、より多くの人に見てもらえるHPの運営を進めたいと考えております。

最後になりましたが、HPでは部会の活動だけでなく、会員の皆様からの記事も掲載いたしますので、掲載してほしい

情報や記事がございましたら、次のメールアドレスまでご連絡下さい。今後とも皆様の同窓会活動へのご協力のほど、よろしく御願い致します。

メールアドレス kanri@kgudenki.jp

行事案内

2015年度総会開催のご案内

本年の煤葉会電気電子情報工学部会の総会は、講演会を行う予定です。日にち...2015年11月中旬ごろ

場所...金沢八景キャンパス 会員のみならず学生が参加できるような総会を計画いたします。

2016年賀詞交歓会のご案内

一昨年度、昨年度は、就職活動を行う学生への支援の場として、OB関連企業各社様のご協力を頂き大学と部会共催で「企業と大学との交流会」(賀詞交歓会)を開催致しました。好評につき、今年度も継続して行きたいと思っております。日にち...2016年1月(予定) 会場...金沢八景キャンパス 12号館「アゴラ」(予定)

2015年度卒業祝賀会開催のお知らせ

恒例となりました、学科、学生会、部会の共催による卒業祝賀会を左記の通り開催いたします。年度末の平日の行事になります。部会として新入会員としての歓迎会も兼ねておりますのでOB・OG各位の積極的な参加をお願い致します。日時...2016年3月24日(木) 16時~19時

会場...神奈川県民ホール「英一番館」(予定)

各行事の詳細は決まり次第、部会のホームページ <http://www.kudenki.jp> に掲載いたしますので、そちらを参照して下さい。